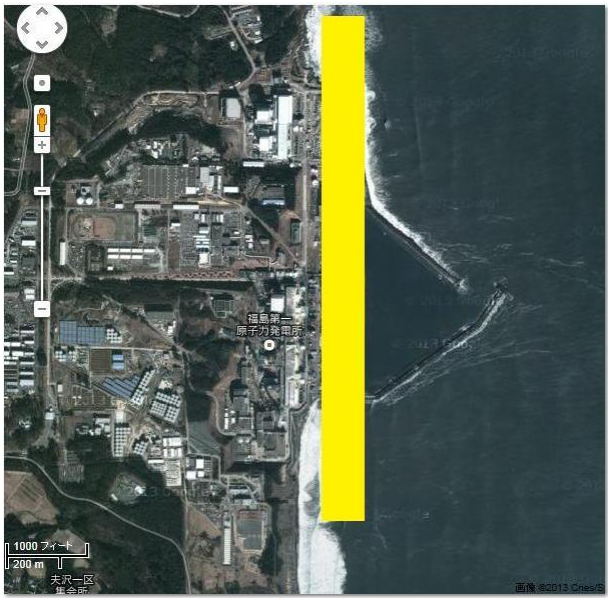
「汚染水は 0.3 平方 km の港湾内で完全にブロックされている。」は本当か？

2013 年９月、安倍首相のオリンピック招致の際の発言だ。さらに「（福島第１原発の）状況はコントロールされている。」と。その後、福島第１原発を視察したとき、東京電力の小野明所長から放射性物質の海への流出や海中での拡散を防ぐ対策の説明を受けた際に「０．３は？」と質問した。どのエリアまでブロックしているのか知らされていなかった。実際はブロックされている証拠はない。



左は福島第一原発の航空写真だ。黄色で囲んだ部分が０．３平方キロメートル。一日３００トンの汚染水が海に流れている。水は１トンで１立方メートル。従って、３００トンの体積３００立方メートル、２５M プール（25m×12m×深さ１m）１つ分だ。1 年間でその３６５倍、2 年半で 912．5 倍の 273750 トン。約 300000 トン。この体積は 1000m×300m×１m。なんと、図の黄色い底面積で深さ１m の直方体と同じになる。

2011 年、独立行政法人海洋研究開発機構のスーパーコンピューターで計算した放射線濃度分布のシミュレーションだ。

2013 年 10 月 18 日汚染タンク周辺の観測井戸から過去最高の 40 万ベクレルの放射線が検出された。海に流れる汚染水は 2011 年当時とあまり変わっていない。太平洋を右の図のように汚染し続けている。